砂川地区広域消防組合からのお知らせ

「火災に伴う注意喚起について」

砂川地区広域消防組合管内では今年に入り火災が連続して２件発生しており、そのうちの１件は一人暮らしの高齢者が犠牲になっています。

暖房機器など使用し、火災の発生が多い時期ですので、各家庭で火災予防対策を徹底し火災を出さないよう火の元には十分注意しましょう。

【火災予防対策のポイント】

① たばこなどの火の取り扱いに注意しましょう！
② 外出時や寝る前に火の元を確認しましょう！
③ ストーブの周りに燃えやすいものを置かないよう注意しましょう！
④ 天ぷらなど揚げ物をするときはその場を離れないようにしましょう！
⑤ お年寄りや体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくりましょう！

＜住宅用火災警報器を設置しましたか？＞

住宅火災であなた自身や家族の命を守るため住宅用火災警報器を設置しましょう。

すでに設置されている方は定期的に点検し、実際に火災が起きたときにきちんと警報されるよう日頃からお手入れをしておきましょう。

【住宅用火災警報器のお手入れ３つのポイント】

① 定期的に作動するかどうか点検しましょう！
警報器が鳴るかどうかテストしてみましょう。点検方法はひもを引くものや、ボタンを押すものなど機種によって違います。

② おおむね１０年をめどに、機器の交換が必要です。
火災警報器の交換は、交換時期を明記したシールが貼ってあるか、「ピーッ」という音などで交換時期を知らせるものがあります。詳しくは取扱説明書を確認してください。

③ 乾電池タイプは交換を忘れずに
乾電池タイプの火災警報器は、電池の交換が必要です。
定期的な作動点検のとき「電池切れかな？」と思ったら、早めに交換することをお勧めします。また電池が切れそうになったら、音やランプで交換時期を知らせてくれます。